

令和8年 3/7 SAT ➡ 5/31 SUN

企画展

松阪三井家の おしなものの

～葉山資料からわかる家族の過ごしかた～



足付蒔絵丸盆 十八前



松阪市立歴史民俗資料館

(2階 小津安二郎松阪記念館)



三重県松阪市殿町 1539 番地 (松坂城跡内)

TEL&FAX 0598-23-2381

入館料 一般 /150円・6歳以上18歳以下 /70円

休館日 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌平日 ※大型連休期間(4/28~5/6)は無休

開館時間 9:00~16:00
(4月からは~16:30)

アクセス 電車：近鉄 / JR 松阪駅下車徒歩約15分

お車：松阪 IC から約10分 市民病院前の松阪市駐車場(無料)をご利用ください。

※藍の縞模様は、伝統工芸品の「松阪木綿」柄です。

松阪三井家は、三井十一家と呼ばれる三井高利の子からなる家のひとつです。十一家のうち高利の長女みねの家系は、江戸時代に松阪本町に居所を構えていたことから松阪三井家と呼ばれています。江戸時代に同家歴代当主の名乗っていた「則右衛門」は、居宅に隣接していた三井松阪店(松阪木綿の仕入に従事)の店名前であり、また、紀州藩御用や大年寄役を務めるなど、松阪有数の名家でもありました。現在は松阪を離れ、その跡地は松阪市産業振興センターとなっています。

神奈川県の大葉山(三浦郡葉山町)は、明治27年(1894)に天皇家の大葉山御用邸が建築されると、その周りには宮家・華族の別荘が建てられ、さらには政治家や著名人の別荘も集まる一大別荘地となりました。三井家も例外でなく、松阪三井家の所有する別荘もありました。

令和6年3月30日、松阪三井家の大葉山別荘に保管されていた資料が松阪市に寄贈されました。これらは、戦前、松阪三井家の本邸や箱根別荘(小涌谷)で使用・保管されていた生活用品・資料類で、後年大葉山別荘に移されたものです。本企画展では、これらの資料を一般公開し、そこから見える松阪三井家の家族の姿や過ごし方などを紹介します。



絵葉書「伊勢松阪の風景」



青漆四ツ目紋付目録盆



御初代様画像
(三井孝賢・墨画傳)



「ストップ」ゲーム



百合蔦絵五引出箱



寄木細工小箆笥

MUSEUM TALK

「三井高利と
その子孫たちの歩みについて」

令和8年 3/28 SAT 11:00 ▶ 11:45

講師 三井高輝さん
(三井物産株式会社 九州支社長/松阪三井家12代当主)

場所 松阪市立歴史民俗資料館 1階

定員 20名(申込不要)

聴講料 無料(入館料必要)



松阪市立歴史民俗資料館
(2階 小津安二郎松阪記念館)

〒515-0073 三重県松阪市殿町1539 TEL・FAX 0598-23-2381